事例No.	2137
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	鹿児島県瀬戸内町

事例区分	DX

タグ	・教育・子育て ・ICT ・観光

事例種類	教育

事例内容・タイトル

プログラミング教育の一環で町の魅力をPRする取組

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

157 プログラミング教育の一環で町の魅力をPRする取組【鹿児島県瀬戸内町】

事業の概要

○　瀬戸内町は、奄美大島の南端に位置し、平成30年度に、文部科学省のIoT実装推進事業として、町内の小学生がプログラミング教育の一環として、奄美大島の魅力を発信する取組に着手した。

○　離島におけるICT教育環境の整備、プログラミング学習システムの検証等、地域の教育課題の解決に向けた実証に取り組んだ。具体的には、小学生が奄美の特産品や動植物等をクラスの仲間と協働でインテリジェントブロック（※）により表現し、HPにも掲載することにより郷土の魅力発信にもつながった。



○　町では、こうした取組の成果を踏まえて、プログラミング教育などのIoT教育に取り組んでいる。

※　プログラムのコードをテキスト入力せずとも、ブロックを並べるだけでプログラミングができるもの。プログラミング教育のツールの一つ。

【参考情報①】 人口：0.9万人
関連URL：　ー

【参考情報②】情報通信技術利活用事業費補助金（地域IOT実装推進事業）（総務省）とは
URL：https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu06_02000186.html

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）

瀬戸内町の魅力等に興味・関心をもつ児童の育成や、小学校プログラミング教育の推進を図るという観点から、取組を決定しました。



（瀬戸内町）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？

プログラミング教育推進のため、平成30年度に総務省の「情報通信技術利活用事業費補助金（地域IOT実装推進事業）」を活用し、33台のタブレット整備を行いました。





これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。

プログラミング教育を学びながら、他の教科や教育活動とつながりをもたせることが大切だと思います。地域における課題の抽出や事業者との調整も、時間をかけ丁寧に行うことが重要だと考えます。



★担当：瀬戸内町教育委員会　総務課★

令和3年度事業費　0千円